

ミカンハダニの防除を徹底しましょう

県内全域で、カンキツのミカンハダニの発生が平年に比べて多く、果実への寄生・被害も確認されています。今後も増殖に好適な高温が続くため、発生の多いほ場では防除を徹底して下さい。

1 発生状況

- (1) 9月中旬の巡回調査(9月9~13日)では、発生地点率が72.0%(平年29.4%)、寄生葉率が22.0%(平年3.3%)でした(図1, 2)。それぞれ**平年に比べ2.4倍, 6.7倍**の発生であり、**過去10年間で最も多い**発生でした(図3, 4)。
- (2) 巡回調査では、**早急に防除を必要とする園地が28%**(25地点中7地点)確認されました。
- (3) 向こう1か月は高温が予想されており(図5)、ミカンハダニの増殖に好適です。

2 防除上の注意事項

- (1) ミカンハダニの発生は、ほ場によって大きく異なるため、発生状況を確認して防除を行いましょう。
- (2) **ほ場内に発生が多く認められる場合は、基幹防除(9月下旬~10月上旬)を前倒ししましょう。**
- (3) ミカンハダニは、葉裏など薬剤のかかりにくい部位にも寄生していますので、丁寧に散布しましょう。
- (4) 薬剤散布後は、散布した樹の葉や果実を確認し、その後も発生が認められる場合は、異なる系統の薬剤を用いて追加防除を行いましょう。
- (5) 防除に当たっては、農薬の登録内容を遵守し、特に、収穫が近い品種については登録された使用時期(収穫前日数)に注意しましょう。

3 関連データ

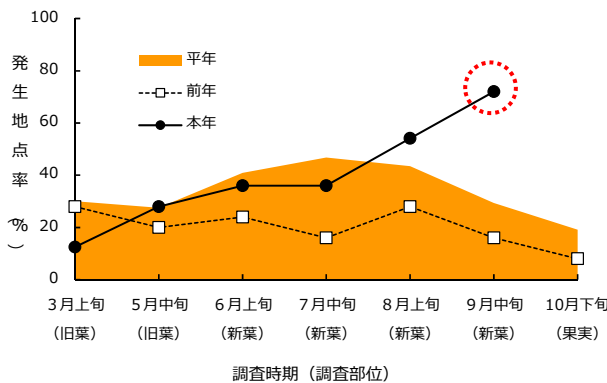


図1 ミカンハダニの発生地点率の推移

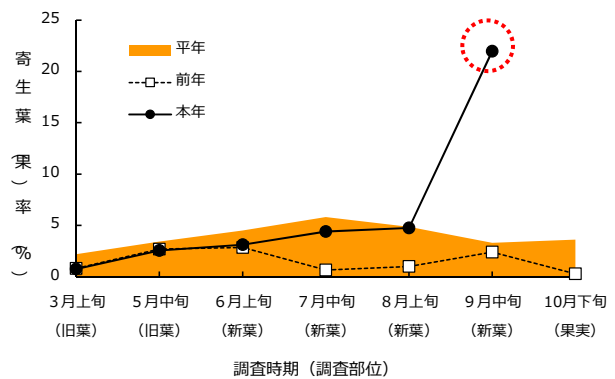


図2 ミカンハダニの寄生葉(果)率の推移

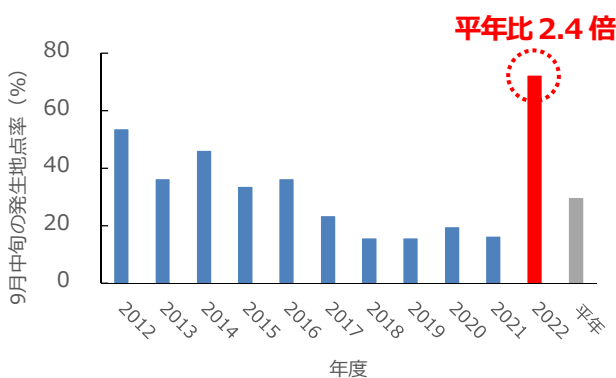


図3 9月中旬の過去10年間のデータとの比較(発生地点率)

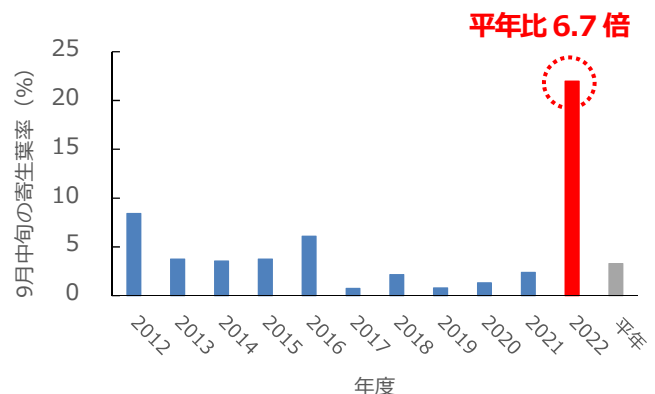


図4 9月中旬の過去10年間のデータとの比較(寄生葉率)

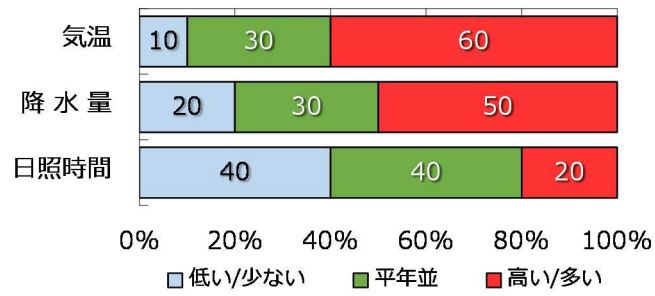


図5 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)
 (広島地方気象台9月15日発表, 9月17日から10月16日までの天候見通し)

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
 〒739-0151
 東広島市八本松町原 6869
 TEL : 082-420-9662 (直通)



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)

ひろしま病害虫情報 検索

ホームページ
リニューアル!

